

## 19年前の米軍ヘリコプター墜落事故現場で集会

### 普天間基地の即時閉鎖と撤去を求める

沖縄で、米軍のヘリコプターが沖縄国際大学のキャンパスに墜落して19年目となる8月13日、墜落現場で集会が開かれ、基地が存在する限り事故が起こる危険性があり、さらに米軍の事故では米軍の管理下に置かれて住民の安全がないがしろにされる現実が訴えられました。この問題について小林寿太郎さんからコメントが寄せられたので紹介します。(金融・労働研究ネットワーク事務局)

#### 右翼の心ない罵詈雑言

米軍ヘリコプターが沖縄国際大学キャンパスに墜落して19年になりますが、沖縄国際大学では集会が開かれ、墜落の年に生まれた19歳の女子学生が普天間基地撤去を訴えるスピーチをしたとNHKのニュースで報じられました。

ところがこのスピーチに「安倍晋三元総理を支える会」という極右サイトが逆上したのです。「基地近くに大学があるのが悪い」「沖縄国際大学はFランクの大学だ。頭の悪い学生を誰かがそそのかしている云々」という罵詈雑言そのものの書き込みがたくさんありました。

これに対して、私は「どこの大学か、というより大学で何を学んだかが大切だ」「自分の学校にヘリコプターが墜落した被害者を冷笑するのは許せない」と書き込み、反論もありました。

しばらくしてこの項目自体が抹消されたのです。どこかに管理者がいて、これはまずいことになると判断して抹消したと思われます。非常識かつ不見識な書き込みが抹消されたのは成果でした。(小林寿太郎)

以下、NHK ニュースと琉球朝日放送のインターネット配信から一部紹介します。

#### NHK ニュース

13日は、墜落した時刻に近い午後2時から、事故で焼け焦げたアカギの木の前で事故を語り継ぐ集会が開かれ、学生や教職員を前に、前津榮健学長が「住民は騒音被害、環境汚染など、依然として基地負担を強いられているのが現状だ」などと述べ、普天間基地の即時閉鎖と撤去を求めました。

続いて学生を代表して、事故が起きた年に生まれた2年生の仲宗根桜さんが「鉄の塊が大きな音を立て飛び回る姿は緊張と不安をかきたてるし、“平和”にほど遠い現実だ。このような事件があったのにもかかわらず、基地は残り続けていて、いまだ問題は解決されていない」と訴えました。

#### NHK 同記事のリンク

[沖縄国際大学 米軍ヘリ墜落事故から19年 墜落現場で集会 | NHK | 基地問題](#)

#### 琉球朝日放送

地元の琉球朝日放送もこの日の集会を報じて、中曽根桜さんの「(米軍の) 航空機の飛行音は私の耳を突き刺し私の胸に『落ちる』という不安と緊張感を生み出します」と言う訴えを紹介。同大の前津榮健学長は「いまま変わらず米軍機が市街地上空を飛行している」とし、「現状は変わるどころか悪化している」と訴えました。

#### 琉球朝日放送の配信記事リンク

[キャンパスに米軍ヘリ墜落から19年 沖縄国際大学で普天間基地閉鎖を求める集い - QAB NEWS Headline](#)